鳥の演劇祭 実施報告書

"BIRD" Theatre Festival TOTTORI

からだでかんじる
そのばでかんじる

12（金）	13（土）	14（日）	15（月・祝）	16（火）	17（水）	18（木）	19（金）	20（土）	21（日）	22（月）	23（火・祝）	24（水）	25（木）	26（金）	27（土）	28（日）
		とっとり体験プログラム ●10:00	『にんぎょひめ』の世界へようこそ！ ●10:00					とっとり体験プログラム ●10:00	●9:00		とっとり体験プログラム ●10:00				とっとり体験プログラム ●9:00	
			平田オリザさんのコミュニケーションワークショップ ●13:00													
	にんぎょひめ（世田谷パブリックシアター） ●14:00	●14:00						私の大切なもの（朗読グループ ひまわりの会） ●14:00	●14:00						料理昇降機（鳥の劇場） ●14:00	●14:00
	二本立て上演 ヤルタ会談／隣にいても一人 - 広島編 -（青年団） ●17:00	●17:00 ●22:00													火宅か修羅か（青年団） ●17:00	●17:00
	オープニングパーティー ●19:00					ヘッダ・ガブラー（鳥の劇場） ●19:30	●19:30	●17:00	●17:00	●22:00						クロージングパーティー ●19:00
現場のぞき体験（にんぎょひめ） ●20:00					現場のぞき体験（ヘッダ・ガブラー） ●20:00								現場のぞき体験（火宅か修羅か） ●20:00		シンポジウム ●19:30	

鳥の演劇祭実行委員会

鳥の演劇祭 初開催を終えて

第一回の鳥の演劇祭は、多くの方のご理解、ご支援のおかげで、所期の目的を遂げることが出来たと思います。あらためて、関わってくださった多くのみなさん、ご来場いただいた観客のみなさんに感謝申し上げます。

演劇祭が、複数の演劇作品のただの集合物ではなく、「祭」としての魅力的、魔術的な力を備えているということを確認できたのが、今回の大きな収穫でした。演劇作品の力が、上演の時間を越え、劇場という空間を越えて広がり、作品どうしや地域を発見するためのイベント（とっとり体験プログラム）とも共鳴し合って、親和的で創造的で知的であたたかな「何か」を、醸し出すことが出来たと感じています。これは鳥取／鹿野以外では生まれ得ない正真正銘のオリジナルものです。

演劇祭で芽を吹いた、とてつもない豊かさを含んだこの「何か」を、これからどう育てて行くかは、鳥取の人々だけでなく、全国の演劇ファンや地域振興に関わる人たちの注目の的になったと言っても過言ではありません。

来年もより大きな規模でより質の高い演劇祭を実施したいと思っております。今年のご助力に改めて感謝申し上げますとともに、来年以降もより一層のご理解、ご支援をたまわりますようお願い申し上げる次第です。

鳥の演劇祭実行委員　鳥の劇場主宰　中島諒人

実施概要

期間： 2008 年 9 月 12 日（金）～ 9 月 28 日（日）
会場： 鳥の劇場（鳥取県鳥取市鹿野町 1812－1　旧鹿野幼稚園／旧鹿野小学校体育館）　TEL/FAX：（0857）84-3268
「劇場」- 旧鹿野小学校体育館
「スタジオ」- 旧鹿野幼稚園遊戯室

参加上演団体：国内 4 団体
見込み来場者数：約 1,500 人（上演のみ）

主催： 鳥の演劇祭実行委員会
会長　長尾裕昭（株式会社ながお代表取締役、NPO 法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会理事長）
副会長　谷口博文（谷口和紙株式会社代表取締役、日本・紙アカデミー理事）
委員　衣笠克則（鳥取県文化観光局長）
西村朋之（鳥取市企画推進部文化芸術推進課長）
五島朋子（鳥取大学地域学部附属芸術文化センター准教授）
中島諒人（特定非営利活動法人鳥の劇場主宰）
監事　荒金啓介（山陰合同銀行三朝支店長）
事務局（鳥取県文化観光局文化政策課内）：TEL（0857）26-7134

助成： 財団法人地域創造
後援：新日本海新聞社、朝日新聞鳥取総局、山陰中央新報社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞大阪本社、中国新聞鳥取支局、NHK 鳥取放送局、日本海テレビ、BSS 山陰放送、山陰中央テレビ
協力：NPO 法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会、鳥取大学地域学部附属芸術文化センター
写真協力：米井美由紀　機材協力：オハラ企画

チケット発売：8 月 1 日
予約： 電話 - 鳥の劇場（0857）84-3268　電子メール - ticket@birdtheatre.org　ウェブ - http://www.birdtheatre.org/engekisai/
問合せ：鳥の演劇祭問合せ窓口（鳥の劇場内）　電話 -（0857）84-3612　電子メール - engekisai@birdtheatre.org　ウェブ - www.birdtheatre.org/engekisai/

鳥の演劇祭の記録【来場者数 1】

全プログラム　合計　1,742 名（延べ）

（「オープニングパーティー」·「クロージングパーティー」は除く）

［上演プログラム］

□　世田谷パブリックシアター「にんぎょひめ」

9 月 13 日（土）14:00	140 名	
9 月 14 日（日）14:00	193 名	計 333 名

□　青年団「二本立て上演　ヤルタ会談／隣にいても一人 - 広島編 - 」

9 月 13 日（土）17:00	91 名	
9 月 14 日（日）17:00	86 名	
9 月 14 日（日）22:00	70 名	計 247 名

□　鳥の劇場「ヘッダ・ガブラー」

9 月 18 日（木）19:30	37 名	
9 月 19 日（金）19:30	44 名	
9 月 20 日（土）17:00	55 名	
9 月 21 日（日）17:00	74 名	
9 月 22 日（月）22:00	65 名	計 275 名

□　朗読グループ ひまわりの会「私の大切なもの」

9 月 20 日（土）14:00	109 名	
9 月 21 日（日）14:00	127 名	計 236 名

□　鳥の劇場「料理昇降機」

9 月 27 日（土）14:00	102 名	
9 月 28 日（日）14:00	112 名	計 214 名

□　青年団「火宅か修羅か」

9 月 27 日（土）17:00	140 名	
9 月 28 日（日）17:00	135 名	計 275 名

上演プログラム（6 公演・上演 16 回）　計 1,580 名（延べ）

鳥の演劇祭の記録【来場者数 2】

［ワークショップ］

□　『にんぎょひめ』の世界へようこそ！

9 月 15 日（月・祝）10:00〜12:00　10 名

□　平田オリザさんのコミュニケーションワークショップ

9 月 15 日（月・祝）13:00〜16:00　31 名

□　芝居創りの現場のぞき体験

『にんぎょひめ』の現場

9 月 12 日（金）20:00〜21:00　11 名

『ヘッダ・ガブラー』の現場

9 月 17 日（水）20:00〜21:00　3 名

『火宅か修羅か』の現場

9 月 26 日（金）20:00〜21:00　13 名

ワークショッププログラム　計 68 名（延べ）

［シンポジウム］

□　芸術活動と社会の関係を考えるシンポジウム

地方の現場から演劇の未来を考える

9 月 27 日（土）19:30〜22:00　55 名

シンポジウム　計 55 名

［とっとり体験プログラム］

□　緑の中でマイナスイオンツアー！

9 月 14 日（日）10:00〜13:00　10 名

□　美しい和紙をすいてみよう！

9 月 20 日（土）10:00〜12:00　3 名

□　しかの・けたか路 見仏記

9 月 21 日（日）9:00〜12:30　降雨のため中止

□　おかずは自分で釣食ります

9 月 23 日（火・祝）10:00〜12:30　12 名

□　三徳山投入堂　修験者に挑戦！

9 月 27 日（土）9:00〜12:00　14 名

とっとり体験プログラム　計 39 名（延べ）

鳥の演劇祭の記録【託児・送迎・ボランティア・宿泊】

【託児】

■　上演プログラムのみ

■　鳥取県の「芸術･文化に親しみやすい環境整備支援事業補助金」を受け、無料にて実施

利用者数：　計 46 名（6 公演・上演 16 回）

【送迎】

■　JR 浜村駅 - 鳥の劇場間

■　ボランティアによる運行のほか、鳥取市の公用バス・公用車を利用

利用者数（送車と迎車）：

上演プログラム（6 公演・上演 16 回）　　計 132 名

ワークショップ、シンポジウム　　計 28 名

合計 160 名

※利用者数には、鹿野町内の宿泊施設までの送迎を含む

【ボランティア】

参加ボランティア人数　36 名（送迎ボランティア 10 名を含む）

【宿泊】

［参加団体］

■　吉岡温泉

世田谷パブリックシアター「にんぎょひめ」

9 月 11 日（木）～ 15 日（月･祝）　　のべ 16 名、57 泊

※5 旅館に分泊

■　鹿野町内（山紫苑）

青年団「ヤルタ会談／隣にいても一人 - 広島編 - 」

9 月 11 日（木）～ 16 日（火）　　のべ 14 名、59 泊

青年団「火宅か修羅か」

9 月 25 日（木）～ 29 日（月）　　のべ 24 名、87 泊

■　鳥取市内

シンポジウムパネリスト

9 月 27 日（土）～ 28 日（日）　　のべ 5 名、5 泊

［観客・取材］（推定）

■　鹿野町内　　のべ 44 名、58 泊

■　鳥取市内　　のべ 15 名、19 泊

鳥の演劇祭の記録【広報 1】

［配布物］
・仮チラシ（A4） 13,500 枚
・チラシ（A3、二つ折り） 25,000 部
・パンフレット（小切手タイプ、52 ページ） 5,000 部
・ポスター大（A1） 100 枚
・ポスター小（A2） 500 枚
・ステッカー 1,000 枚

［記者発表］
■ 7 月 30 日（水） 鳥取県庁 県政記者室
出席者：
鳥の演劇祭実行委員会・会長／株式会社ながお代表取締役・長尾裕昭
鳥の演劇祭実行委員会・実行委員／鳥の劇場主宰・中島諒人
鳥の演劇祭実行委員会・実行委員／鳥取県文化観光局長・衣笠克則
鳥の演劇祭実行委員会・実行委員／鳥取市企画推進部文化芸術推進課長・西村朋之
参加社：毎日新聞、朝日新聞、山陰中央新報、日本海新聞、読売新聞、中国新聞
■ 9 月 12 日（金） 鳥の劇場
出席者：
鳥の演劇祭実行委員会・会長／株式会社ながお代表取締役・長尾裕昭
鳥の演劇祭実行委員会・実行委員／鳥の劇場主宰・中島諒人
劇作家／演出家・平田オリザ氏（青年団）
「にんぎょひめ」制作担当・清水幸代氏（世田谷パブリックシアター）
「にんぎょひめ」出演俳優 5 名
参加社：毎日新聞、朝日新聞、日本海新聞、読売新聞

［その他の取り組み］
■ 株式会社今井書店の協力を得て、同書店の吉成店（鳥取市）に鳥の演劇祭での上演戯曲や関連書籍を特集するコーナーを設けた。
■ 鳥の劇場に近い鳥取市立鹿野小学校にて、同校の図書館で「にんぎょひめ」にちなんだ PR 掲示を実施。
■ 山陰合同銀行の協力により、鳥取県内の各支店および近県の支店にて、鳥の演劇祭のポスターを掲示。

今井書店吉成店での鳥の演劇祭コーナー

鳥の演劇祭の記録【広報 2】

［記事掲載（新聞）］

□　7 月 31 日（木）、朝日新聞「『鳥の演劇祭』9 月に初開催」
□　7 月 31 日（木）、毎日新聞「地域を活気づけたい」
□　8 月 2 日（土）、山陰中央新報「舞台ざんまいの 17 日間」
□　8 月 5 日（火）、産経新聞＜セッション＞「世界の問題 舞台で表現」
□　8 月 8 日（金）、読売新聞「演劇祭 鳥取満喫して」
□　8 月 19 日（火）、日本海新聞「来月 12 日から“鳥の演劇祭”」
□　9 月 12 日（金）、日本海新聞「劇作家・平田さん 倉吉西中でモデル授業」
□　9 月 13 日（土）、日本海新聞「『鳥の演劇祭』開幕」
□　9 月 13 日（土）、読売新聞「元気ある鳥取 発信」
□　9 月 13 日（土）、毎日新聞「ここでしか見られない」
□　9 月 14 日（日）、朝日新聞「芸術の秋 演劇ざんまい」
□　9 月 14 日（日）、日本海新聞＜取材ノート＞
□　9 月 15 日（月・祝）、毎日新聞「修験の地・鹿野『法師ヶ滝』へ 自然や伝統も体感」
□　9 月 19 日（金）、毎日新聞「『ヘッダ・ガブラー』凝縮された空間」
□　9 月 20 日（土）、毎日新聞「『私の大切なもの』上演」
□　9 月 21 日（日）、日本海新聞「国語に演劇取り入れる　平田オリザさんがモデル授業」（特集＋平田氏インタビュー）
□　9 月 23 日（火・祝）、日本海新聞＜かお＞「鳥の演劇祭実行委員長の長尾裕昭さん」
□　9 月 28 日（日）、毎日新聞「きょう感動のフィナーレ」
□　9 月 28 日（日）、読売新聞「鳥の演劇祭きょう閉幕」
□　9 月 28 日（日）、朝日新聞「伝えたい平和・命の尊さ『ひまわりの会』」

［記事・情報掲載（雑誌など）］

□　「とっとり県政だより」8 月号、情報欄＜催し＞
□　「さんいんキラリ」夏号、＜キラリ特選情報＞
□　「鳥取 NOW」79 号、＜話題あれこれ＞
□　「とっとり県政だより」9 月号、特集「地域に花開く！文化芸術-第 1 部」（見開き 2 ページ）
□　「市報とっとり」9 月号、＜市民文化祭＞コーナー
□　「地域創造レター」9 月号、「地域通信」欄
□　「とっとり観光ニュース」（鳥取県観光政策課）9 月号
□　「地域創造」（財団法人地域創造）24 号、特集、10 月 25 日発行予定

［記事・情報掲載（ウェブサイト）］

□　「鳥取県観光情報」（鳥取県観光政策課）、鳥の演劇祭リンクバナー掲示
□　「鳥取県旅の生情報」（鳥取県観光連盟）、情報掲載
□　鳥取市観光協会サイト、情報掲載
□　「鳥取市観光情報」、鳥取市観光コンベンション推進課、鳥の演劇祭リンクバナー掲示
□　岡山日日新聞サイト「鳥取県観光情報」、情報掲載
□　「マップルネット『おでかけニュース』」、昭文社、情報掲載
□　鳥取県公式ホームページ「とりネット」＜アーティストリゾート＞、鳥取県文化政策課、アーティストリゾート事業としての鳥の演劇祭の紹介
□　鳥取県公式ホームページ「とりネット」、＜イベントカレンダー＞、文化芸術情報ホームページ＜Art’s Friend＞、情報掲載
□　鳥取市公式ウェブサイト、＜イベント・行事案内＞・＜トピックス＞、情報掲載

［放映（テレビ）］

□　9 月 10 日（水）、NHK 鳥取放送局「いちおし NEWS とっとり」
□　9 月 10 日（水）、「NCN コミュニティチャンネル」、日本海ケーブルネットワーク
□　9 月 19 日（金）・20 日（土）、「ぴょんぴょんチャンネル」、いなばぴょんぴょんネット
□　9 月 24 日（水）、「テレポート山陰」、BSS 山陰放送
□　9 月 24 日（水）、「NCN コミュニティチャンネル」、日本海ケーブルネットワーク

写真で見る鳥の演劇祭

にんぎょひめ アンデルセン作「人魚姫」より （世田谷パブリックシアター）

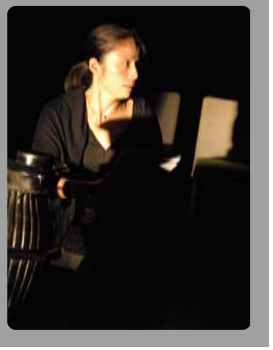
9月13日(土)·14日(日) 14:00

二本立て上演 ヤルタ会談／隣にいても一人 -広島編- （青年団）

9月13日(土) 17:00·14日(日) 17:00/22:00

ヘッダ·ガブラー （鳥の劇場）

9月18日(木)·19日(金) 19:30　20日(土)·21日(日) 17:00　22日(月) 22:00



私の大切なもの　（朗読グループ　ひまわりの会）

9月20日(土)·21日(日) 14:00

料理昇降機　（鳥の劇場）

9月27日(土)·28日(日) 14:00

火宅か修羅か　（青年団）

9月27日(土)·28日(日) 17:00

『にんぎょひめ』の世界へようこそ!

9月15日(月·祝) 10:00～12:00

平田オリザさんのコミュニケーションワークショップ

9月15日(月·祝) 13:00～16:00

芸術活動と社会の関係を考えるシンポジウム

地方の現場から演劇の未来を考える

9月27日(土) 19:30～22:00

芝居創りの

現場のぞき体験

『にんぎょひめ』の現場

9月12日(金) 20:00～21:00

『ヘッダ・ガブラー』の現場

9月17日(水) 20:00～21:00

『火宅か修羅か』の現場

9月26日(金) 20:00～21:00

緑の中でマイナスイオンツアー!

9月14日(日) 10:00～13:00

美しい和紙をすいてみよう!

9月20日(土) 10:00～12:00

おかずは自分で釣食ります

9月23日(火･祝) 10:00～12:30

三徳山投入堂　修験者に挑戦!

9月27日(土) 9:00～12:00

オープニングパーティー

9月13日(土) 19:00～20:30

クロージングパーティー

9月28日(日) 19:00～20:30

会場風景